

年齢 性別	43 歳 男	障害名	脳出血による 高次脳機能障害・軽度左片麻痺	身 体:- 精 神:3 級 愛の手帳:-	最寄駅 もしくは居住区	戸塚 (JR・市営地下鉄)
経歴	情報処理の専門学校卒業後、IT 関連の会社に SE として就職し、主に公共施設のネットワークのメンテナンスやトラブル対応に従事してきました。 令和 4 年 7 月に脳出血を発症し、高次脳機能障害と軽度の左片麻痺が残っています。仕事柄、プログラムのチェックや運転が多かったため、復職は難しいと感じ、令和 5 年 7 月末で退職しました。 令和 5 年 8 月より、就職を目指して横浜市総合リハビリテーションセンターの就労支援施設に通っています。					

就労支援施設での活動実績

通所 開始日	令和 5 年 8 月 より	現在の 活動時間	月 9:00~16:30 通所	火 9:00~16:30 通所	水 9:00~16:30 リモートワーク	木 9:00~16:30 通所	金 9:00~16:30 リモートワーク
取り組んでいる作業			後遺症の影響			依頼したい配慮	
PC	Excel・Word・PowerPoint を使って、依頼された資料の作成を行っています。 Excel は単純なデータ入力の他、VLOOKUP 関数・INDEX 関数・MATCH 関数などを用いた処理ができます。 Word はイラストや写真を使ったビジネス文書の作成ができます。 PowerPoint はグラフやアニメーションを使ったスライドの作成ができます。 基本的な Office ソフトの使い方は問題ありません。		・口頭だけで指示を出されたり、一度に複数の指示を出されたりすると、勘違いや記憶違いが起こりやすいです。 ・複数の工程があると、作業に慣れるまではミスが出やすく、1~2 つ抜けてしまうことがあります。 ・やや脳の疲労が起こりやすく、2 時間程度作業を続けると、集中力が低下してしまいます。			・指示は書面やメールで出してもらいたいです。 ・1 つずつ指示を出してもらいたいです。 ・作業を正確に行うため、見直しをする時間を確保してもらいたいです。 ・定型的な作業だと勘違いしにくくなります。 ・指示の内容を正しく理解できているかも含め、作業に慣れるまではダブルチェックをしてもらいたいです。 ・作業のパフォーマンスを維持するため、1 時間に 5 分程度、小休憩を取らせてもらいたいです。	
リモートワーク	自宅には作業スペースを設け、データ入力作業や、スライド作成のための情報収集を行っています。 リモートワーク中は Zoom やチャットを使い、就労支援施設の職員に進捗報告や成果物の提出を行っています。						

希望条件

雇用 形態	正社員・契約社員・パート	勤務日 勤務時間	フルタイムの就労を希望します。	勤務地 通勤方法	交通機関を使って 60 分以内で通勤できる職場を希望します。 リモートワークも対応可能です。
		開始時期	すぐにも開始したいです。		
希望する 職務等	・これまでの経験を活かし、パソコンに携わる仕事(市場調査・資料作成・データ入力など)を希望します。 ・パソコンの基本スキルは問題ありませんが、指示の受け取り時にやや勘違いが生じやすいので、内勤の仕事を希望します。事情をご存じ無い社外の方とのやり取りには、やや不安を感じています。				

担当支援員からのコメント

脳の疲労、記憶力、注意力といった、見た目にはわかりづらい面に後遺症の影響があるものの、パソコン(特に Office ソフト)のスキルは高く、MOS の資格も取得されています。小休憩を取る、在宅ワークを挟むなどすれば、週 5 日安定した活動を継続することができます。 初めて行う作業やマルチタスクは少し苦手になっています。職務内容や指示の出し方、作業後の確認など、慣れるまではご配慮をいただく必要がありますが、作業に慣れば安定したパフォーマンスを発揮できます。 担当支援員:野田
--

こちらの求職希望者との面談等をご希望される採用担当者様がおりましたら、まずは担当支援員にご連絡ください。

Tel:045-473-0666(代表)

Eメール:shuro-info@yokohama-rf.jp